

鶴翼 ~東経130°からの挑戦~

佐賀県立唐津東高等学校・佐賀県立唐津東中学校 学校通信 [総務部発行]

決意を胸に・・・ 中・高卒業式



中学校では、秋に制作した曳山のモザイクアートも展示され、花を添えた ↓



担任の呼びかけも聞こえない →



花々のつぼみがほころび、一息に春めいてきました。いよいよ令和3年度も終わろうとしています。高校では3月2日(水)に第66回、中学校では3月11日(金)に第14回の卒業証書授与式が挙行されました。コロナウイルスまん延防止のため、今年も在校生は出席はかありませんでしたが、来賓や多くの保護者の方に見守られ、厳粛かつ心のこもった式でした。

清水耕三校長や平野央振興会会長の祝辞をはじめ、高校・米倉萌里さん、中学・岡大翔さんの送辞に答え、高校では小松夕夏さん、中学では鍵山京助さんが答辞で力強く、旅立ちの決意を述べました。

卒業生たちの今後の健闘、活躍、そして幸せを心よりお祈りします。

文化部・校外活動成果発表会(中・高)

2月24日(木)午後、今年度の文化部や校外での活動の成果を発表する会が行われました。高校音楽部の元気な演奏から始まったこの会では、かるた部の実演や科学部のわくわくするようなデモンストレーションが繰り広げられ、コロナ禍もあってなかなか発表の場がない文化部の活躍を垣間見ることができました。

また、生徒会が今年度鶴城寺子屋(高校生が中学生の勉強をサポートする活動)を地域の中学生に対して行った初めての試みが、高校生徒会長の米倉萌里(高2-3)さんから紹介されました。他にも前田幸奈さん(高2-1)の英語スピーチ、北朝鮮人権侵害問題啓発週間作文コンクールで入賞した脇山悠さん(中3-3)や社会貢献活動を続けている中川芹香さん(高2-5)の発表など、1人ひとりがそれぞれの舞台上で一生懸命努力している姿が見られ、他の生徒たちも大きな刺激を受けているようでした。

また、3月4日まで、美術部・写真部・書道部・家庭研究部の作品も校内で展示され、素晴らしい作品に、足を止めて見入る姿が見られました。

「総合的な探究」学年発表会(高1・2)

今年度、高校1年生と2年生は、唐津市の協力を得て、唐津の抱える課題について探究を進めてきました。2月25日(金)はその探究の成果を確認する発表会がそれぞれの学年で行われました。

1学期より、市から提示されたさまざまな分野の課題について数名のグループで調査、考察を進めてきましたが、予定していたフィールドワークもコロナ禍のためになかなか実施しづらく、生徒もデータ集めに苦慮する様子が見られました。ですが、発表内容は、データを駆使しながら、高校生らしい発想で展開されたものが多く、見応えのあるものすばらしいものだったと思います。

探究活動を終えて、生徒達からは「自分たちの町に、実はさまざまな現実的な課題があることを知ることができた」、「一つの課題について、さまざまな観点から考えることができた」「SDGsの視点を意識することができた」などの感想が聞かれ、実り多い活動であったようです。

来年度は、コロナも収束し、唐津市との連携のもとで、さらに内容の濃い活動ができることを期待しています。



高校2年生の発表の様子。プレゼンテーションも上達している。